

令和5年8月22日

栃木県知事 殿

住 所 栃木県栃木市境町27番21号
申請者 一般財団法人とちぎメディカルセンター
代表理事理事長
氏 名 森田 辰男

とちぎメディカルセンターしもつが地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法12条の2規定に基づき、2022年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒329-0043 栃木県栃木市境町27番21号
氏名	一般財団法人とちぎメディカルセンター 代表理事理事長 森田 辰男

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

とちぎメディカルセンターしもつが

3 所在の場所

〒329-4498 栃木県栃木市大平町川連420番地1	電話 (0282) 22-2551
--------------------------------	---------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	6床	床	床	301床	307床



5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 人工呼吸器 心電図 ベッドサイドモニター 病床数 8 床 除細動器 超音波診断装置 血圧監視装置 輸液ポンプ 輸注ポンプ 等
化学検査室	(主な設備) 骨髓像計数装置 血中ビリルビン定量計 顕微鏡 血液保冷库 遠心機 全自動尿分析装置 尿沈査児分析装置 全自動便分析装置 自動血球 分析装置 全自動血液凝固測定装置 生化学自動分析装置 糖尿病検査装置 血液ガス分析装置 全自動免疫装置
細菌検査室	(主な設備) バイオガードクリーンベンチ 遠心機 恒温孵卵器 インキュベーター オートクレーブ 落射蛍光顕微鏡 感熱滅菌器 遺伝子装置
病理検査室	(主な設備) ミクロトーム 自動細胞収集装置 システム生物顕微鏡 病理標本自動封入装置
病理解剖室	(主な設備) 解剖台 マクロ撮影装置 電子天秤
研究室	(主な設備) オーダリングパソコン インターネットパソコン
講義室	室数 1 室 収容定員 150 人音響装置 プロジェクター 椅子 机
図書室	室数 1 室 蔵所数 4000 冊程度
救急用又は患者 搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 7.25 m ²

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

地域医療支援病院紹介率	78.2%	算定期間	2022年4月1日～2023年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	82.0%		
算出根拠	A：紹介患者の数		9024人
	B：初診患者の数		11539人
	C：逆紹介患者の数		9457人

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

- (注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13)

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	氏名	勤務の態様	勤務時間
医師	大森 達人	常勤 専従	38.75 時間
医師	北澤 正文	常勤 非専従	38.75 時間
医師	中間 季雄	常勤 非専従	38.75 時間
医師	村野 俊一	常勤 非専従	38.75 時間
医師	児玉 多曜	常勤 非専従	38.75 時間
医師	藤榮 寿雄	常勤 非専従	38.75 時間
医師	福田 健	常勤 非専従	38.75 時間
医師	森田 辰男	常勤 非専従	38.75 時間
医師	黒須 敦	常勤 非専従	38.75 時間
医師	倉田 秀一	常勤 非専従	38.75 時間
医師	角田 真人	常勤 非専従	38.75 時間
医師	宮原 晶子	常勤 非専従	38.75 時間
医師	櫻井 祐輔	常勤 非専従	38.75 時間
医師	大塚 陽介	常勤 非専従	38.75 時間
医師	小林 久也	常勤 非専従	38.75 時間
医師	渡辺 直生	常勤 非専従	38.75 時間
医師	黒木 知則	常勤 非専従	38.75 時間
医師	大岡 優希	常勤 非専従	38.75 時間
医師	佐藤 悠	常勤 非専従	38.75 時間
医師	小林 高久	常勤 非専従	38.75 時間
医師	高谷 美成	常勤 非専従	38.75 時間
医師	杉田 憲一	常勤 非専従	38.75 時間
医師	沼田 道生	常勤 非専従	38.75 時間
医師	國分 文香	常勤 非専従	38.75 時間
医師	小泉 大	常勤 非専従	38.75 時間
医師	近藤 悟	常勤 非専従	38.75 時間
医師	塩澤 幹雄	常勤 非専従	38.75 時間
医師	北林 宏之	常勤 非専従	38.75 時間
医師	田原 真紀子	常勤 非専従	38.75 時間
医師	渡部 純	常勤 非専従	38.75 時間
医師	小林 冬美	常勤 非専従	38.75 時間
医師	萩原 浩好	常勤 非専従	38.75 時間

医師	矢野 雄一郎	常勤	非専従	38.75 時間
医師	金谷 裕司	常勤	非専従	38.75 時間
医師	福島 崇	常勤	非専従	38.75 時間
医師	赤澤 規広	常勤	非専従	38.75 時間
医師	橋本 祐希	常勤	非専従	38.75 時間
医師	金谷 洋明	常勤	非専従	38.75 時間
医師	小林 伸行	常勤	非専従	38.75 時間
医師	寺内 文人	常勤	非専従	38.75 時間
医師	茗荷 宏昭	常勤	非専従	38.75 時間
医師	高橋 鉄平	常勤	非専従	38.75 時間
医師	藤田 晃彦	常勤	非専従	38.75 時間
医師	高田 康輔	常勤	非専従	38.75 時間
医師	森 直樹	常勤	非専従	38.75 時間
医師	前川 奈々	非常勤	専従	7.75 時間
医師	佐久間 大智	非常勤	専従	7.75 時間
医師	内田 雅俊	非常勤	専従	7.75 時間
医師	鷹栖 相崇	非常勤	専従	7.75 時間
医師	多田 周平	非常勤	専従	7.75 時間
医師	眞島 孝聡	非常勤	専従	7.75 時間
看護師	巻島 ヒ口子	常勤	専従	38.75 時間
看護師	田代 美紗	常勤	専従	38.75 時間
准看護師	飯島 弘美	常勤	専従	38.75 時間
看護師	茂木 匡広	常勤	専従	38.75 時間
看護師	長野 友紀	常勤	専従	38.75 時間
看護師	長 亜矢佳	常勤	専従	38.75 時間
看護師	古橋 志津枝	常勤	専従	38.75 時間
看護師	岡田 滋達	常勤	専従	38.75 時間
看護師	福田 悦子	常勤	専従	38.75 時間
看護師	大野 恵未	常勤	専従	38.75 時間
看護師	浅井 清美	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	木塚 康江	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	百目鬼 裕子	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	古川 みち子	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	毛塚 友展	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	松尾 沙耶香	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	舘野 有加里	常勤	非専従	38.75 時間

看護師	伊澤 美帆	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	二ノ宮 圭祐	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	三関 隆佑	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	川原井 由香	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	坂本 裕希	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	高田 美結樹	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	金成 翔史	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	二宮 夢奈	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	皆川 昌慧	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	橋本 智子	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	栗山 葉子	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	松嶋 幸彦	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	中島 真太郎	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	岸 幸子	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	野崎 晴可	非常勤	非専従	20 時間
看護師	癸生川 未来	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	川嶋 典子	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	落合 紀代美	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	井坂 恵理	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	成瀬 孝子	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	武正 智宏	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	和田 京子	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	飯塚 千代美	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	阿部 洋子	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	上岡 里美	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	齋藤 尚子	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	成瀬 孝子	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	高橋 弘栄	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	宇賀神 昌子	常勤	非専従	38.75 時間
看護師	鶴見 美香	常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師	大垣 幸正	常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師	倉井 栄典	常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師	神山 博樹	常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師	大関 直人	常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師	岡田 治樹	常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師	佐橋 あゆみ	常勤	非専従	38.75 時間

薬剤師	森戸 貴美恵	常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師	伊澤 結衣	常勤	非専従	38.75 時間
薬剤師	柏淵 恵里佳	常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師	木村 和弘	常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師	高田 英明	常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師	大垣 拓史	常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師	手塚 雄一	常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師	名淵 尚孝	常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師	小林 芳郎	常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師	川田 理奈	常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師	沼田 早希子	常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師	佐山 和弥	常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師	森池 遼	常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師	斎藤 祐太郎	常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師	津谷 里紗	常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師	池澤 敦夫	常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師	平木 肇	常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師	菊地 加奈子	常勤	非専従	38.75 時間
放射線技師	小林 拓弥	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	飯島 みどり	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	鎬木 克己	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	渡辺 佳津子	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	小杉 朱美	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	古内 智央	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	佐橋 千恵	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	大垣 加奈子	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	伊原 千尋	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	福田 準也	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	小松崎 聡美	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	相米 美希	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	美島 千紘	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	大久保 早紀	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	塩田 みのり	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	中山 瑞穂	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	茂田井 彩香	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	高木 姫奈	常勤	非専従	38.75 時間

検査技師	須田 美沙樹	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	芦野 舞	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	大貫 拓真	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	橋本 和也	常勤	非専従	38.75 時間
検査技師	遠藤 磨美	常勤	非専従	38.75 時間

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	12床
専用病床	0床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
診察室	513.90㎡	除細動器 心電図 患者監視装置 超音波診断装置 人工呼吸器	可
処置室	91.12㎡	患者監視装置	可
検体検査室	207.59㎡	(主な設備) 骨髓像計数装置 血中ビリルビン定量計 顕微鏡 分光光度計 血液製剤×線照射装置 血液保冷库 遠心機 全自動尿分析装置 尿沈査児童分析装置 全自動便分析装置 自動血球分析装置 全自動血液凝固測定装置 生化学自動分析装置 糖尿病検査装置 血液ガス分析装置 全自動免疫装置 (主な設備)	可
細菌室	23.15㎡	バイオガードクリーンベンチ 遠心機恒温孵卵器 インキュベーター オートクレーブ 落射蛍光顕微鏡 乾熱滅菌器	可
病理室	25.67㎡	マイクローム 自動細胞収集装置 システム 生物顕微鏡 病理標本自動封入装置 パラフィン包埋ブロック作成装置 密閉式自動固定包埋装置 凍結マイクローム	可
生理検査室	268.14㎡	長時間心電図記録装置 心電計 重心動揺計 除細動器 超音波診断装置 誘発電位検査装置 呼吸機能分析装置 ストレストテストシステム 長時間心電図解析システム 脳波計 血圧脈波検査装置	可
放射線室	746.71㎡	体外衝撃波結石破碎装置 X線一般撮影装置 X線骨密度装置 乳房用X線装置 全身用血管撮影装置 デジタルX線TVシステム 磁気共鳴画像装置 全身用X線CT装置	可

4 備考

救急告示病院 令和4年2月1日

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	3449人 (1405人)
上記以外の救急患者の数	2436人 (430人)
合計	5885人 (1853人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第 14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

(2) 共同利用の実績

1 共同利用の実績

・ コンピュータ断層撮影	504 件
・ 磁気共鳴コンピュータ断層撮影	1406 件
・ 胸部・骨盤計測レントゲン	4 件
・ 骨密度検査	130 件
・ 超音波検査・ABI 含む	391 件
・ ホルター心電図	3 件
・ 脳波検査	1 件
内視鏡検査	9 件
共同利用を行なった医療機関数	65 件
共同利用を行なった医療機関延べ数	2448 件
開設者と直接関係のない医療機関延べ数	2448 件
病床利用件数	0 件

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

・ コンピュータ断層撮影
・ 磁気共鳴コンピュータ断層撮影
・ 胸部レントゲン
・ 骨盤計測レントゲン
・ 骨密度検査
・ 超音波検査
・ 血圧脈波検査(ABI)
・ ホルター心電図
・ 脳波検査
・ 内視鏡検査

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 有 ・ 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：大豆生田 正也

職種：事務職員

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付する

とちぎメディカルセンターしもつが地域医療支援事業運営管理規程

(趣旨)

第1条 この規程は、とちぎメディカルセンターしもつが（以下「しもつが」という。）が地域の基幹病院として、救急医療をはじめ、かかりつけ医から紹介された専門的治療が必要な患者の診断・治療を行うなど、地域の診療所やクリニック等を支援することを方針とする。さらに、地域医療機関や施設との機能分担を図り、地域医療の向上に資するため、しもつがが行う地域医療支援事業（以下「支援事業」という。）の運営について必要な事項を定めるものとする。

(支援事業の範囲)

第2条 しもつがが行う支援事業としての共同利用の範囲は次のとおりとする。

- (1) 外来及び入院患者診療への参加
- (2) 手術への参加
- (3) 医療機器の利用
- (4) 研究施設（会議室、図書室）の利用
- (5) 共同連携ベッドの利用

(紹介患者に対する医療の提供)

第3条 しもつがは、地域医療機関からの紹介患者に対し、専門的治療を行うとともに、安全な医療を提供する。

2 しもつがは、病状が安定した患者については、紹介元医療機関または地域医療機関へ逆紹介する。

(登録医療機関)

第4条 登録医療機関とは、総合連携推進本部が、とちぎメディカルセンター病診連携登録医規程（2016年5月1日施行）第3条の規定に基づき登録した医師が所属する医療機関（以下「登録医療機関」という。）とする。

(登録医療機関の責務)

第5条 登録医療機関は、刑法第134条第1項（秘密漏示）に準拠し、しもつがより知り得た患者の個人情報及び診療内容について守秘義務を順守する。

(登録医)

第6条 登録医は、第4条第1項の規定により登録された医療機関に所属する医師とする。

2 しもつがは、共同利用する登録医に対し、その目的に鑑み報酬等は支給しない。

(共同利用)

第7条 登録医療機関が第2条に規定する共同利用を行う場合は、当該部門の指示において共同利用に当たる。

2 登録医療機関が第2条に規定する共同利用を行う場合は、しもつが組織には属せず、しもつが職員に対する直接の指示権限は有しない。

3 登録医療機関に属する医師、看護師、薬剤師、その他の医療従事者が会議室及び図書室を利用する場合、しもつがが定める利用規約等に基づき手続きを行うこととし、その事務は、患者総合支援センター地域医療連携室が行う。

(委託契約書)

第8条 登録医療機関が第2条第3号の規定に基づき医療機器の共同利用をする場合は、別に定める医療機器共同利用委託契約書を締結する。

(救急医療の提供)

第9条 しもつがは、24時間体制で地域医療機関からの紹介に基づく救急医療を行う。

(研修の実施)

第10条 しもつがは、地域医療機関の医療従事者を対象に、地域医療の資質向上を目指し各種研修を行う。

2 研修の企画、立案、運営及びその評価を行うため地域医療支援病院教育研修委員会(以下「教育研修委員会」という。)を設置する。

3 教育研修委員会の設置に関することは、別に定める。

(委員会の設置)

第11条 支援事業の円滑な運営、諸問題を協議することを目的として委員会を設置する。

2 前項の委員会は、とちぎメディカルセンターしもつが地域医療支援病院運営委員会(以下「運営委員会」という。)と称する。

3 運営委員会の設置に関することは、別に定める。

(情報公開)

第12条 支援事業及び登録医療機関における情報は、総務課と患者総合支援センター管理のもと、しもつが正面玄関のインフォメーション及びホームページに掲載する。

2 情報公開におけるインフォメーション及びホームページへの掲載内容については、委員会に報告する。

(規程の改廃)

第13条 本規程の改廃は、とちぎメディカルセンターしもつが経営戦略会議の議を経て、しもつが病院長が決定し、委員会に報告する。

附 則

この規程は、2022年4月1日から施行する。

医療機器共同利用委託契約書

委託者 _____（以下「甲」という。）と受託者 一般財団法人とちぎメディカルセンター とちぎメディカルセンターしもつが（以下「乙」という。）とは、検査の委託に関し、次の通り契約を締結する。

（目的）

第1条 地域の医療機関との連携を図り医療機器を共同利用することで、地域におけるニーズに対応することを目的とする。

（検査の委託契約内容）

第2条 検査の委託契約内容は、次の各号によるものとする。

1. 甲は、検査の実施について乙に委託し、乙はこれを受託するものとする。
2. 甲は、検査の実施に当たり検査日時の予約を取り、患者に説明を行う。
3. 乙は、受託した検査を行い、その画像データ等を甲に渡す。

（検査項目）

- 第3条
1. 単純 CT 撮影
 2. 単純 MRI 撮影
 3. 単純 X 線撮影
 4. 骨塩定量検査
 5. 超音波検査
 6. 脳波検査
 7. ホルター型心電図検査

（委託料）

- 第4条
1. 乙が甲に請求できるものは検査料とし、その金額は健康保険法の診療報酬点数により算定した額とする（記録媒体（CD-R 等）の材料費を含む）。
尚、保険点数の改正の場合には、その改正点数に対応した額を請求するものとする。
 2. 乙は、甲の依頼を受けた患者について算定した金額を暦月末日で締切、一括して翌月の10日までに請求明細書を添付し、請求するものとする。
 3. 甲は、乙から支払い請求があったときは、その内容を審査し速やかに支払うものとする。支払方法については、請求月の翌月末日までに銀行振り込みにて支払うものとする。尚、振込手数料については甲の負担とする。

（委託期間）

第5条 この契約による委託期間は、____年__月__日から____年__月__日までとする。但し、期間満了の1ヶ月前までに甲または乙から解除の意思表示がない時は、期間満了後の1年間この契約を延長するものとし、以後も同様とする。

(検査結果についての疑義)

第6条 検査結果に疑義がある場合は、次の各号により処理するものとする。

1. 甲は、検査結果受領後7日以内にその内容を通知しなければならない。
2. 乙は、前号の通知を受けたときは、甲と協議のうえ、再検査等適切な処置をしなければならない。

(契約の解除)

第7条 甲または乙は、次のことに該当するときはこの契約を解除することができる。

1. 甲または乙がこの契約に違反したとき
2. 乙において、受託業務の遂行が著しく困難になったとき
3. 健康保険法の改正による受託業務が困難になったとき

(検査実施中の事故責任)

第8条 検査実施中(開始から終了まで)に不慮の事故が生じた場合は、乙の責任において対処するものとする。

(個人情報の保護並びに守秘義務)

第9条 乙は、本契約に基づいて検査を実施するために知り得た患者の個人情報について、検査目的以外に使用しないものとする。

もし、乙により個人情報が漏洩した場合は、乙はその責任を負うものとする。

(契約についての疑義等)

第10条 この契約について疑義が生じた場合及びこの契約に定めのない事項については、その都度甲乙協議のうえ解決するものとする。

この契約を証する為、本書2通を作成し、甲乙双方が記名押印のうえ、各1通を保有するものとする。

年 月 日

甲 住 所
医療機関名
院 長 名

乙 住 所 栃木県栃木市大平町川連420番地1
医療機関名 一般財団法人とちぎメディカルセンター
とちぎメディカルセンターしもつが

病 院 長 名 北澤 正文

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙 「病診連携登録医一覧」				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	7床
--------------	----

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別紙 「とちぎメディカルセンターしもつが研修会一覧 2022年度」

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	13回
(2) (1) の合計研修者数	245人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 有・無

イ 研修委員会設置の有無 有・無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
北澤 正文	医師	婦人科	病院長	41年	教育責任者
藤栄 寿雄	医師	放射線科	副病院長	39年	教育研修委員会委員長
小泉 大	医師	外科	外科部長	27年	
小林 高久	医師	腎臓内科	内科部長	23年	患者総合支援センター長
福田 裕美子	看護師	看護部	看護部長	33年	
早乙女 守子	看護師	看護部	看護副部長	29年	
牛込 和子	看護師	看護部	主幹	35年	認定看護師

大垣 幸正	薬剤師	薬剤部	部長	35年	
星野 裕	理学療法士	リハビリテーションセンター	室長	26年	
飯島 みどり	臨床検査技師	臨床検査科	技師長	36年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
図書室	85.89㎡	コピー機・パソコン5台 インターネット設備
講堂	236.62㎡	プロジェクター・音響設備・パソコン・電動スクリーン
	㎡	(主な設備)
	㎡	(主な設備)
	㎡	(主な設備)

病診連携登録医一覧

施設数112 / 登録医115

2023年4月4日現在

施設名	医師名	郵便番号	住所	電話番号
【栃木市地区】				
青木医院	青木 虎男	328-0072	栃木市嘉右衛門町6-10	0282-20-6022
青木眼科医院	青木 真祐	328-0053	栃木市片柳町1-15-26	0282-22-4641
秋元クリニック	秋元 明彦	328-0012	栃木市平柳町2-27-13	0282-29-1131
天海内科	天海 陽子	328-0053	栃木市片柳町1-6-40	0282-23-8333
池森クリニック	池森 亨介	328-0041	栃木市河合町2-3 エクセルパ ルビル2F	0282-25-2577
石井内科医院	石井 重利	328-0042	栃木市沼和田町49-1	0282-24-1615
いわい町クリニック	荒木 則幸	328-0052	栃木市祝町4-30	0282-20-3000
うづまクリニック	大森 正規	328-0123	栃木市川原田町1608-1	0282-24-4821
恵川いたみと漢方のクリニック	恵川 宏敏	328-0032	栃木市神田町21-15	0282-22-0006
えぐち内科クリニック	江口 学	328-0017	栃木市錦町9-5	0282-20-2255
大島医院	永谷 久美	328-0053	栃木市片柳町1-17-19	0282-23-2116
おおやクリニック	大家 準	328-0053	栃木市片柳町2-1-50	0282-24-8822
大山整形外科内科医院	大山 守	328-0006	栃木市国府町306-1	0282-27-4609
岡田皮フ科耳鼻咽喉科クリニック	岡田 嘉右衛門	328-0043	栃木市境町21-7	0282-25-2525
金子内科医院	金子 明弘	328-0125	栃木市吹上町1642-1	0282-25-6031
金田医院	石嶋 秀行	328-0031	栃木市日の出町1-6	0282-22-0415
亀田整形外科内科医院	亀田 正裕	328-0075	栃木市箱森町25-72	0282-24-8800
河口医院	河口 達仁	328-0017	栃木市錦町6-12	0282-22-5752
かわしまクリニック	川島 吉人	328-0033	栃木市城内町2-34-20	0282-24-8239
蔵の街診療所	福地 将彦	328-0027	栃木市今泉町1-17-29	0282-29-3131
好生医院	石塚 毅彦	328-0037	栃木市倭町2-25	0282-22-0317

こばやしクリニック	小林 晃	328-0075	栃木市箱森町51-40	0282-25-8300
こひらメディカルクリニック	轡田 啓子	328-0073	栃木市小平町12-17	0282-20-1530
さいとう小児科	斉藤 伸夫	328-0015	栃木市万町30-16	0282-22-0757
桜井こどもクリニック	櫻井 賢司	328-0034	栃木市本町16-9	0282-24-5987
さくら眼科クリニック	大塚 信行	328-0053	栃木市片柳町4-15-27	0282-20-5225
サンライズクリニック	盛川 宏	328-0031	栃木市日ノ出町6-6	0282-24-4702
すずきクリニック	鈴木 紀男	328-0042	栃木市沼和田町10-12	0282-20-2200
星風会病院 星風院	中野 俊至	328-0004	栃木市田村町928	0282-27-3969
関口医院	関口 弘道	328-0014	栃木市泉町21-3	0282-25-2223
大門内科医院	大門 康寿	328-0071	栃木市大町27-24	0282-24-8131
高田クリニック	高田 良久	328-0015	栃木市万町16-23	0282-23-9133
高田産婦人科医院	高田 秀一	328-0053	栃木市片柳町1-17-3	0282-24-3211
竹田内科小児科クリニック	竹田 航一	328-0011	栃木市大宮町52	0282-29-1233
たまのクリニック	玉野 稔博	328-0053	栃木市片柳町1-6-3	0282-22-3777
ちづかクリニック	腰塚 学	328-0133	栃木市大森町445-4	0282-31-3750
筒井医院	筒井 仁	328-0032	栃木市神田町10-14	0282-22-1191
とちぎ診療所	嶋崎 勝典	328-0074	栃木市菌部町2-11-4	0282-25-3225
栃木中央クリニック	栗田口 淳子	328-0015	栃木市万町13-13	0282-22-0057
なかつぼクリニック	中坪 直樹	328-0075	栃木市箱森町36-2	0282-20-5252
”	古清水 岳志			
中野病院	中野 誠	328-0052	栃木市祝町8-1	0282-22-0031
なかむら耳鼻咽喉科クリニック	中村 昭彦	328-0071	栃木市大町22-58	0282-25-5141
中元内科医院	中元 明哉	328-0027	栃木市今泉町2-10-18	0282-27-2325
成田内科	成田 淳夫	328-0041	栃木市河合町9-10	0282-22-3722
なんばクリニック	難波 美津雄	328-0054	栃木市平井町219-5	0282-24-7787

新村ファミリークリニック	新村 清美	328-0011	栃木市大宮町2120-11	0282-28-0115
野崎医院	野崎 泰宏	328-0016	栃木市入舟町14-3	0282-24-4809
のぞみ整形外科	林 衛	328-0053	栃木市片柳町4-15-30	0282-20-1313
芳賀耳鼻咽喉科医院	芳賀 雅士	328-0051	栃木市柳橋町6-28	0282-24-4701
橋本医院	橋本 安紀子	328-0024	栃木市樋ノ口町396-39	0282-22-5875
平野整形外科医院	平野 貴章	328-0012	栃木市平柳町1-35-5	0282-23-7300
ふじさわクリニック	藤澤 亨	328-0043	栃木市境町1-23 隆盛館ビル2F	0282-20-0678
三浦整形外科	三浦 敦	328-0124	栃木市野中町1381-10	0282-20-1158
箕輪内科	箕輪 均	328-0072	栃木市嘉右衛門町10-6	0282-23-5588
山門クリニック	山門 悦子	328-0031	栃木市日ノ出町6-35	0282-22-0765
よこやま内科小児科クリニック	横山 孝典	328-0075	栃木市箱森町38-70	0282-24-8102
わたなべ内科・循環器科クリニック	渡邊 和宏	328-0124	栃木市野中町625-1	0282-21-7528
【栃木市都賀町地区】				
合戦場クリニック	山田 吾郎	328-0113	栃木市都賀町合戦場212-5	0282-29-1291
船越医院	船越 修二	328-0111	栃木市都賀町家中5986-6	0282-27-5763
百瀬医院	百瀬 正明	328-0104	栃木市都賀町木383-1	0282-27-8210
【栃木市大平町地区】				
あおき耳鼻咽喉科医院		329-4425	栃木市大平町新1474-1	0282-43-3387
大平下病院	佐藤 隆文	329-4404	栃木市大平町富田5002-1	0282-43-2222
大平東診療所	新崎 興二	329-4411	栃木市大平町横堀808	0282-22-0173
大平ファミリークリニック	長 政利	329-4404	栃木市大平町富田5-229	0282-43-7500
おおひらレディスクリニック	岸本 恭紀	329-4406	栃木市大平町下皆川753	0282-43-8211
かわたクリニック	川田 浩	329-4421	栃木市大平町西野田640-1	0282-45-2522
くろき内科クリニック	黒木 茂広	329-4401	栃木市大平町牛久199-2	0282-20-5000
小森谷内科医院	小森谷 武美	329-4404	栃木市大平町富田4003-8	0282-43-7327

整形外科メディカルパス	町田 敏	329-4423	栃木市大平町西水代1943-1	0282-45-1366
田村医院	田村 治	329-4423	栃木市大平町西水代1835-1	0282-43-3368
鶴見皮膚科	鶴見 純也	329-4425	栃木市大平町新1540-31	0282-45-2212
藤沼医院	藤沼 彰	329-4404	栃木市大平町富田592-1	0282-43-2233
みずほクリニック	小山 照夫	329-4401	栃木市大平町牛久99-2	0282-25-1222
森川内科・外科クリニック	森川 丘道	329-4425	栃木市大平町新1068	0282-45-2225
【栃木市藤岡町地区】				
腰塚医院	腰塚 格	323-1104	栃木市藤岡町藤岡1845-10	0282-62-2072
〃	腰塚 康揚			
藤岡診療所	天野 一夫	323-1104	栃木市藤岡町藤岡5005	0282-62-9962
藤岡整形外科クリニック	鈴木 基廣	323-1104	栃木市藤岡町藤岡25	0282-61-1070
持田医院	持田 忍	329-0319	栃木市藤岡町中根115-5	0282-67-3661
わたらせ在宅診療所	伊奈 啓輔	329-0317	栃木市藤岡町帯刀48-1	0282-25-7618
【栃木市岩舟町地区】				
安純の里	松永 安優美	329-4311	栃木市岩舟町古江405	0282-55-2000
あまがい内科医院	天下井 正弘	329-4308	栃木市岩舟町下津原189-2	0282-55-7811
江田クリニック	江田 証	329-4314	栃木市岩舟町小野寺2575-7	0282-57-1234
熊倉医院	熊倉 忍	329-4316	栃木市岩舟町新里180	0282-55-8425
小松原医院	小松原 利文	329-4307	栃木市岩舟町静550-2	0282-55-2026
静和医院	青木 章	329-4304	栃木市岩舟町静和2166-1	0282-55-2028
しまだクリニック	島田 均	329-4309	栃木市岩舟町畳岡534-1	0282-55-1500
高橋眼科	高橋 直人	329-4307	栃木市岩舟町静843	0282-54-1132
博愛クリニック	石川 博人	329-4307	栃木市岩舟町静1071-1	0282-55-2425
橋本腎内科クリニック	橋本 義孝	329-4303	栃木市岩舟町和泉1457-1	0282-54-3377
長谷川医院	長谷川 秀実	329-4304	栃木市岩舟町静和2114-6	0282-55-7000

【小山市地区】				
小山イーストクリニック	大橋 博	323-0022	小山市駅東通り1-32-1	0285-24-2200
小山すぎの木クリニック	朝倉 伸司	323-0806	小山市中久喜1113-1	0285-30-3456
川村内科医院	川村 肇	323-0822	小山市駅南町5-16-12	0285-28-1332
神野医院	横山 愛子	323-0052	小山市下河原田694	0285-38-0007
田村整形外科	田村 興太郎	323-0028	小山市若木町2-10-20	0285-24-6161
船田内科外科医院	船田 隆	323-0007	小山市松沼578	0285-37-0010
星野病院	星野 聰	329-0201	小山市粟宮1-7-8	0285-23-7227
水越内科クリニック	水越 和夫	323-0826	小山市雨ヶ谷506-1	0285-28-7880
【下都賀郡地区】				
大橋内科クリニック	大橋 裕二	321-0219	下都賀郡壬生町福和田1003-1	0282-82-8522
小倉医院	小倉 建夫	321-0227	下都賀郡壬生町通町10-5	0282-82-0057
おもちゃのまち内科クリニック	安楽 幸悦	321-0203	下都賀郡壬生町幸町2-11-2	0282-86-1517
野木病院	麦倉 匡史	329-0101	下都賀郡野木町友沼5320-2	0280-57-1011
花の舎病院	近藤 智善	329-0112	下都賀郡野木町南赤塚1196-1	0280-57-1200
ゆりなメディカルパーク	三橋 梅八	329-0111	下都賀郡野木町丸林662-3	0280-57-0000
【佐野市地区】				
あきもと小児科医院	秋本 一	327-0844	佐野市富岡町1561-2	0283-21-3322
佐野在宅診療所	羅 英杉	327-0003	佐野市大橋町1997-23	0283-21-2688
鈴木内科クリニック	鈴木 修	327-0831	佐野市浅沼町50-2	0283-23-0117
匠レディースクリニック	中野 貴史	327-0842	佐野市奈良淵町339-4	0283-21-0003
ますだトータルケアクリニック	増田 雄彦	327-0844	佐野市富岡町753	0283-86-9933
【足利市地区】				
長崎病院	長崎 秀彰	326-0053	足利市伊勢町1-4-7	0284-41-2230
〃	千葉 義和			

〃	千葉 泰子			
【宇都宮市地区】				
中川内科クリニック	中川 洋一	321-0157	宇都宮市幕田町736-9	028-658-8883
【県外】				
県西在宅クリニック	岩本 将人	306-0205	茨城県古河市関戸1635	0280-23-2618

とちぎメディカルセンターしもつが研修会一覧

2022年度

医療者対象研修会							
No	日付	項目	題名	講師	出席者		
					院外	院内	合計
1	4.13	栃木 頭痛診療連携の会	クリニックで診る頭痛、病院で診る頭痛 片頭痛発症抑制のパラダイムシフト	亀田 知明 椎名 智彦	9	3	12
2	6.9	第19回思川運動器セミナー	変形性膝関節症の診断と治療	中川 匠	26	10	36
3	6.23	栃木市CKD医療連携講演会		小林 高久	17	13	30
4	8.31	Fracture Liaison Service Seminar in栃木市～二次性骨折予防を考える～	大腿骨近位部骨折の二次骨折予防 ～二次性骨折予防継続管理料導入について～	杉本 直哉	12	11	23
5	10.12	蔵の街CKDセミナー	「糖尿病診療を考え直す～JDOME参加の経験から」	高田 良久	20	4	24
6	10.26	第33回栃木地区薬・薬連携研究会	循環器系薬剤の最近の話題～ガイドライン等を交えて～	小林 久也	Web配信		27
7	10.28	蔵の街疼痛フォーラム	『スポーツドクターとしての活動とドーピング』 『新型コロナとロコモ、神経障害性疼痛と腰痛～ミロガバリンへの期待～	金谷 裕司 竹下 克志	8	12	20
8	10.31	循環器の最新治療 TAVI Webセミナー	「TAVIで広がる最新の弁膜症治療」	小林 久也	19	3	22
9	11.10	栃木県「放射線技師会第5地区研修会」	「救急で重要な異物の話」	藤原 寿雄	Web配信		46
10	11.11	糖尿病Webセミナー in栃木	「合併症予防を見据えた糖尿病診療～服薬アドヒアランスを考慮して～」 「糖尿病合併症と薬物選択～新しいアルゴリズムを踏まえて～」	黒田 久元 薄井 勲	Web配信		
11	11.11	第12回 あじさいの会(多職種研修会)	「摂食嚥下の仕組み～安全に食べるためには」	茂呂 恵美子	Web配信		
12	12.1	第20回思川運動器セミナー	中枢性神経障害性疼痛のメカニズムとその治療	牛田 亨宏	中止		
13	2.28	第13回 あじさいの会(多職種研修会)	在宅における栄養管理 ～在宅や施設において簡単に取り入れやすい栄養管理～	佐藤 一恵	Web配信		
14	3.16	救急症例検討会	救急隊との事例検討	大森 達人	2	3	5
合 計					113	59	
					Web	73	245

地域住民対象研修会							
No	日付	項目	題名	講師	出席者		
					院外	院内	合計
1	4月	市民公開講座	中 止				
2	5月	市民公開講座	中 止				
3	6月	市民公開講座	中 止				
4	7月	市民公開講座	中 止				
5	8月	市民公開講座	①高齢者の熱中症について②糖尿病・・・夏はこれに注意！ ③夏こそしっかり食べよう！低栄養の話	中 止			
6	9月	市民公開講座	中 止				
7	10月	市民公開講座	中 止				
8	11月	市民公開講座	中 止				
9	12月	市民公開講座	中 止				
10	1月	市民公開講座	中 止				
11	2月	市民公開講座	中 止				
12	3月	市民公開講座	中 止				
合 計							
出席者総合計					113	59	
					Web	73	245

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 北澤 正文
管理担当者氏名	事務部長 高山 淳一

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、入院診療計画書、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		電子カルテ、及び各部門システムにて保存 一部紙カルテは医事課で保存	日誌は部署で管理 紙媒体についてはスキャンし電子カルテに保管後、原本は診療情報管理課で管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	年度毎に分類
	救急医療の提供の実績	地域医療連携室	年度・科別に分類
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室	年度毎に分類
	閲覧実績	診療情報管理課	年度毎に分類
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	年度毎に分類

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	事務部長 高山淳一
閲覧担当者氏名	診療情報管理課長 横塚貴史
閲覧の求めに応じる場所	診療情報管理課、
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>病院管理に関する日誌類</p> <p>① 事前に閲覧文書、閲覧目的を記載した「文書開示請求書」を閲覧担当者へ提出</p> <p>② 提出された「文書開示請求書」により、開示の可否を決定</p> <p>③ 開示可能と決定した場合は、開示請求者に対して開示日時などを連絡</p> <p>④ 開示当日は、閲覧担当者が立ち会い、閲覧を行う</p> <p>診療録関係</p> <p>① 閲覧の希望及び閲覧の書類閲覧日を事前に連絡</p> <p>② 閲覧当日は、所定の用紙に氏名、患者氏名を記載</p> <p>③ 閲覧場所で閲覧担当者が立ち会い閲覧を行う</p> <p>④ 閲覧後、入院中の患者と面談、診察を行った場合は、面談内容を主治医に連絡する。</p>	

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	件
	歯科医師	件
	地方公共団体	件
	その他	件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	3 回	
委員会における議論の概要		
別紙 「とちぎメディカルセンターしもつが地域医療支援病院運営委員会議事録」		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

とちぎメディカルセンターしもつが 地域医療支援病院運営委員会議事録

日時：2022年6月3日（金）13：30～14：30

場所：とちぎメディカルセンターしもつが 講堂

出席者：横山下都賀郡市医師会副会長 町田下都賀歯科医師会会長 武本栃木地域薬剤師会会長
工藤栃木県南保健所所長 白石栃木市健康増進課長 上岡栃木市消防本部消防長
本名栃木市消防本部警防課長（赤羽根救急管理係長 代理出席） 中間病院長 藤栄副病院長
近藤総合連携推進部部長 松下事務部長 福田看護部長 早乙女地域医療連携室長

1. 開会 院長 中間 季雄

2. 挨拶 院長 中間 季雄

3. 議事

(1) 2022 年度実績について

① 救急医療の実績

今年度の救急患者数報告 4月の救急患者受け入れ総数 502名（ウォークイン含む）。

うち救急搬送患者数は 269名、救急搬送患者のうち入院患者数は 106名、入院率は 39.4%。

昨年度の同月は救急患者受け入れ総数 426名、救急搬送患者数は 240名であり、増加傾向にある。

しもつが二次救急の当番外は、木曜・土曜・祝日。月の3分の1弱が当番外となるが、当番外日も

ほぼ同様に受け入れている。土曜日のウォークイン患者が多い傾向にある。

2021年度の1年間の実績 救急患者数は 5,555名（ウォークインを含む）

（2020年度は 5,688名、2019年度は 6,896名、コロナ禍前の 2018年度は 7,164名）

うち、救急搬送者数は 2,835名、入院加療となった人は 1,180名、入院率は 41.6%であった。

（2020年度は 2,877名、2019年度は 3,371名、コロナ禍前の 2018年度は 3,535名）

コロナ禍以降、救急患者数は減少しており、今年度も同様の傾向が続いている。

・今年度の救急車の出動件数は前年比増加傾向にある。コロナ禍以降、外出する機会が減ったためか外傷（交通事故など）による救急要請の割合が少なくなった。（上岡）

受入困難件数について、今年度より受入困難理由の集計方法を変更した。

「救急車重複、病棟急変対応、満床」32件、うち救急患者重複が 19件、うち休日夜間が 13件。

「二次救急適応外と判断」24件、うち三次救急へと医師が判断した事例が 15件。

「各診療科での対応困難」28件、うち休日や夜間が 21件。

「その他」10件、小山・石橋管内へお願いした場合や、院内連携上の問題で受け入れできない

など。

昨年度は特に1月2月の受入困難が多かった。1月の71件うち41件が満床による受入困難であった。2月以降は救急受入のために先に延ばせる疾患の予定入院を延期するなど対策し、満床でのお断りがないよう取り組んでいる。

・開業医からの救急要請については、どの程度受け入れられているのか？（横山）

→呼吸器内科、循環器内科、脳神経外科の疾患が予測される患者の受入れが難しかったが、4月以降は呼吸器内科の医師が増え、内科系は受入れ易くなったと思われる。（早乙女）

→脳神経外科医が1名減り、脳神経内科医と併せて2名体制のため、改善に努めたい（中間）

② 紹介患者に対する医療の実績（紹介率・逆紹介率）

2021年度 初診紹介患者 8,321名、紹介率 70.4%、逆紹介率 85.2%

2022年度 初診紹介患者 685名、紹介率 77.6%、逆紹介率 88.1%（4月のみ）

③ 研修会について

2022年度は1回開催。6月は資料にあるほか1件の研修予定である。

地域医療支援病院教育研修委員会で、研修会の内容について協議を行い、医師が講師の研修だけでなく多職種の研修を予定している。コロナウイルス感染拡大の2019年度以降、症例検討会が中止されていたため、感染状況を考慮しながら研修会や症例検討会の開催方法を検討し実施していきたい。

・感染対策向上加算など診療報酬算定に関する勉強会の予定はどのようになっているか？（横山）

→感染状況等を考慮しながら、感染対策担当者と相談して内容・場所・人数等を検討し実施していく予定。（早乙女）

④ 共同利用実績について

2022年度4月の実績 CT 35件、MRI 113件 胸腹骨盤単純撮影 1件、超音波 29件

2021年度合計 2,527件、2020年度合計 2,256件 患者の受診自粛の影響があったと思われるが、徐々に増加傾向にある。

(2) その他

・カルシウム拮抗剤による「薬剤性歯肉増殖症」について患者へ副作用の説明をしてほしい。（町田）→内科系医師、薬剤部等へ周知していく。（中間）

・急患センターについて、小児科は日曜夜間のみ診療だったが、2022年7月18日（月）より祝日、年末年始の診療を開始する。年間20日程度診療日を増やせた。それに伴い日曜日の外科は21時までの診療だったが17時までになった。17時以降はしもつがでの対応となっている（白石）→特に大きな問題はないと聞いている（福田）

(3) 次回開催について 2022年9月2日（金）13:30～予定

とちぎメディカルセンターしもつが 地域医療支援病院運営委員会議事録

日時：2022 年 9 月 2 日（金）13：30～14：30

場所：とちぎメディカルセンター

総合健診センター管理棟 3 階研修室 A

出席者：横山下都賀郡市医師会副会長 町田下都賀歯科医師会会長 武本栃木地域薬剤師会会長
白石栃木市健康増進課長 上岡栃木市消防本部消防長
本名栃木市消防本部警防課長（赤羽根救急管理係長 代理出席） 北澤病院長
近藤総合連携推進部長 松下事務部長 福田看護部長 早乙女地域医療連携室長

1. 開会 院長 北澤 正文

2. 挨拶 院長 北澤 正文

3. 議事

(1) 2022 年度実績について

① 救急医療の実績

資料 1-1

今年度 7 月までの救急患者数（ウォークイン含む）4 か月の合計で 2,081 名、うち救急搬送患者数は 1,118 名、入院となった患者は 454 名、入院率は 40.6%。ウォークイン来院は 963 名で、入院 188 名、入院率は 19.5%。昨年度の同時期 7 月までの 4 か月の合計 1,872 名で、今年度 209 名の増加となっている。救急搬送患者数は 199 名の増加、ウォークイン来院は 10 名の増加。すべての月において増加がみられた。

資料 1-2

当番日とは、木曜・土曜・祝日を除く曜日のため、月 20 日位の日数。

7 月までの救急患者数は、1,312 名 うち救急搬送患者数は 791 名、入院率は 43.4%。昨年同時期の比較では、救急患者数 150 名の増加。救急搬送患者数は 117 名の増加。

資料 1-3

救急患者数 769 名、うち救急搬送患者数は 327 名、入院率 33.9%。昨年との比較では、救急患者数は 159 名の増加。救急搬送患者数は 82 名の増加。

当番日と当番外の比較をすると、救急患者数の中の救急搬送者割合が、当番日では 60.3%、当番外では 42.5%と当番日の救急搬送割合が多くなっている。

資料 1-7

受入れ困難件数は 336 件。割合で 22.9%。昨年度の同時期では 24.2%。断わりの件数でみると多いが、割合で見ると減少傾向。昨年度の 1 年間の救急搬入率 70.5%、今年度は 77～78%。

理由別では、救急重複と病棟対応や満床といった物理的理由が 127 件と多い。

7月の内容は36件のうち34件が救急外来患者重複による受入れ困難。そのうち夜間19件、日中が15件のうち9件が土日。

対応困難内訳は、胸痛や脳血管疾患疑いのケースが多い。

今年度4月より平日日中の救急外来医師が2名体制となり、日中の受け入れ困難はやや減少してきている。(昨年度までは火曜・木曜が医師一人体制だった。)

② 紹介患者に対する医療の実績（紹介率・逆紹介率）

資料2

2022年度 紹介率75.1%、逆紹介率81.8%（7月まで）

2021年度 紹介率70.4%、逆紹介率85.2%

③ 研修会について

資料3

今年度は4回行い、院外52名、院内参加者合わせて78名。現在Webでの研修が主流となっている

が、感染状況を考慮しながらリハビリや薬剤師、看護師の研修会開催を計画中。8月から開催予定

をしていた市民公開講座は感染者数の減少が見られないことから中止となった。

④ 共同利用実績について

資料4-1

今年度の実績 CT166件、MRI490件、胸腹骨盤単純撮影3件、骨密度44件、超音波134件、ホルター心電図1件、内視鏡（上部）4件

昨年度の実績と比較してやや減少。5月6月は増加傾向にあったが、7月は減少。感染拡大の影響があるのではないかと。

(2) その他

○今年度から救急部で平日日中は救急隊からの電話を直接医師が受けるようになった。受入れ時間の短縮を目的として始まった。(早乙女)

・Drがホットラインに出るようになり、メリットとしてはダイレクトに医師に伝えることができ時間の短縮につながっている。(赤羽根)

○身寄りのない患者を救急搬送する時、受入れに時間がかかったり受入れができないなどのケースがあるが、院内では受入れできるように医療安全委員会で話を勧めている。(早乙女)

・一人暮らしや家族が遠方の方は現場滞在時間が長くなる。(赤羽根)

・栃木市では身寄りのない方のご自宅の冷蔵庫を開けると白い筒（医療情報カプセル）があり連絡先が分かるような取り組みもある。(早乙女)

・医療情報カプセルを持っている人は玄関先にステッカーが貼ってあり、意識障害の患者宅の冷蔵庫を開けたらあったケースが1症例ある。

ステッカーを貼ると一人暮らしとわかってしまう。(赤羽根)

・老老介護でさらに認知がある方などの活用は？（横山）

→包括推進課が担当のため確認する。（白石）

○救急搬送患者の受入れ後、コロナと判明した人数は増えているのか？（横山）

→第7派以降、多くみられている。入院患者は、全症例検査を行っている。（福田）

（3）次回開催について 2022年12月2日（金）13：30～予定

とちぎメディカルセンターしもつが 地域医療支援病院運営委員会議事録

日時：2023年3月3日（金）13：30～14：30

場所：とちぎメディカルセンターしもつが 講堂

出席者：横山下都賀郡市医師会副会長 町田下都賀歯科医師会会長 武本栃木地域薬剤師会会長
工藤栃木県南保健所所長 白石栃木市健康増進課長 上岡栃木市消防本部消防長
本名栃木市消防本部警防課長（赤羽根救急管理係長 代理出席） 北澤病院長 藤栄副病院長
近藤総合連携推進部長 松下事務部長 福田看護部長 早乙女地域医療連携室長

1. 開会 院長 北澤 正文

2. 挨拶 院長 北澤 正文

3. 議事

(1) 2022年度実績について

① 救急医療の実績

【2022年度月別救急患者数（ウォークイン含む）・合計】資料 1-1

今年度1月までの救急患者数は（ウォークイン含む）5,101名、うち救急搬送患者数は2,919名、入院となった患者は1,201名、入院率は41.1%。ウォークイン来院は2,182名、入院381名、入院率は17.5%。昨年度1年間の救急搬送患者数が2,835名に対し、今年度1月末までで、2,919名と昨年度の患者数を超えている。コロナ前の2018年12月の救急搬送数は282件、1月は286件。今年度12月・1月ともに300件を越えた。コロナ前の冬より受入れ件数の増加。ウォークイン来院も昨年度同時期の比較で561名の増加。

【2022年度月別救急患者数（ウォークイン含む）・当番日】資料 1-2

当番日とは、木曜・土曜・祝日を除く曜日のため、月20日位の日数。

1月までの救急患者数は、3,206名、うち救急搬送患者数は2,018名、入院率は43.2%。昨年同時期の比較では、救急患者数236名の増加。救急搬送患者数は332名の増加。

【2022年度 月別救急患者数（ウォークイン含む）・当番外】資料 1-3

救急患者数1,895名、うち救急搬送患者数は901名。昨年との比較では、救急患者数は143名の増加。救急搬送患者数は229名の増加。

【救急車受入困難件数・事由】資料 1-7

受入れ困難件数は1月までの累計で1,295件。累計割合で30.7%。12月は237件、1月では244件と過去にない件数。救急搬送件数も300件台と増加。受入れ困難の割合では、12月、1月ともに43%。理由別では、救急重複と病棟対応や満床といった物理的理由が565件と多い。

12月の報告内容は133件のうち74件が病床確保困難。救急外来での複数患者や重症患者対応中

といった、救急外来重複での断りが34件。12月・1月は、新型コロナ（第8波）の影響で全国でも救急搬送困難事例が多く発生。当院でも県内の管外や県外からの依頼も多く、病床確保が厳しい状況。

11月末に1病棟でクラスター発生し、12月20日まで入院受入れ制限によりさらに病床確保困難。救急搬送以外に通常の外来での受入れ困難も多く、先生方や救急隊の方には、大変ご迷惑をおかけして申し訳なかった。3月に入り病床確保困難で救急受入れ困難の状況は回避。

1月の受入れ困難事由の各診療科での対応困難件数は70件と多い。報告内容は休日夜間の脳外科・循環器対応症例や呼吸器内科の入院対応ができない状況があった。呼吸器疾患疑いが多くみられた。

○救急車受入れ台数の増加に対し入院率が減少しているのは軽症患者の要請が多かったため？
(横山)

・全体に対し軽症患者の割合は4割で変化はなし。(赤羽根)

○12月・1月の特異的な受入困難に対し、今後病院として断らないための方向性は？(横山)

・断らないで受けていく方針だが、物理的な要因で受け入れられないこともある。他院では、完全に受け入れてしまって重症患者が来ても誰も診察できないという困った事例があった。100%の受入れを目指すには難しい。気軽に断ることのないように、医師の怠慢など改善していこうと思っている(北澤)

② 紹介患者に対する医療の実績(紹介率・逆紹介率)

【地域医療支援病院紹介率・逆紹介率月別調べ】資料2

2022年度 紹介率77.1%、逆紹介率80.6%(1月まで)

2021年度 紹介率70.4%、逆紹介率85.2%

医師の不在や、呼吸器内科の診療体制等で、一部受け入れできない診療科や時期があった。

逆紹介数を増やしていきたいが選定療養費のこともあり、なかなか逆紹介に繋がらない。

外来診療中、患者に逆紹介を理解してもらい、紹介状を書くまでの時間を割くのは厳しい状況。

③ 研修会について

【とちぎメディカルセンターしもつが研修会一覧】資料3

今年度は14回行い、院外111名、院内参加者合わせて240名。今年度予定していた市民公開講座

はコロナ感染状況により中止となり来年度予定。

2月の施設看護師や介護職員向けの摂食嚥下に関する対面式の研修会も実施に至らず。

3月は、救急部の医師と栃木消防の方と3年ぶりの症例検討会を予定。

来年度については、5月消化器内科と外科の医師による症例検討会、11月ほかの診療科による

症例検討会、感染対策研修、緩和ケア研修、在宅酸素療法や睡眠時無呼吸に関する研修などのプログラム

を作成中。詳細は決まり次第ご案内とする。

○歯科医師会主催の公開講座を予定しているが、来年度の研修会の予定を教えて欲しい。(町田)

・来年度の計画はまだ出来ていないので、決まり次第お知らせする。(早乙女)

④ 共同利用実績について

【2022 年度共同利用件数の実績】資料 4-1

今年度の実績 CT 409 件、MRI 1,172 件、胸腹骨盤単純撮影 3 件、骨密度 115 件、超音波 318 件、ホルター心電図 2 件、内視鏡（上部）7 件、脳波 1 件。昨年度の実績と比較してやや減少。

(2) その他

○開業医で重複受診をして、薬を大量に処方してもらっている患者が 4 名いるという薬物乱用の

事例があった。(武本)

(3) 次回開催について 2023 年 6 月 2 日（金）13：30 ～予定

(様式例第19) 患者相談の実績

(2022年度)

患者相談を行う場所	相談窓口、相談室・その他 ()
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	看護師・社会福祉士・事務員
患者相談件数	135 件
患者相談の概要	
別紙	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

2022年度 患者相談対応報告集計

【内容別報告】

相談内容	件数
疾患・診療に関すること	30
生活上及び入院上の不安等	3
医療者の対応等に起因する苦情等	39
上記以外相談や苦情等	63
計	135

【相談者別】

		件数
患者	電話	9
	来談	55
家族等	電話	16
	来談	26
行政	電話	5
	来談	
福祉サービス提供者	電話	
	来談	
その他	電話	4
	来談	20
計		135

対応事例

- ・患者家族。手術中待機で6時間待たされたとクレーム。病棟では来院しない認識、手術終了後の連絡なし、案内不備あり、看護師が来ることになっていないと言い切り、不満爆発。謝罪し、案内に病院に問い合わせし易い内容を盛り込む等対策することでご納得いただいた。
対策：待合室の巡視、患者家族へ経過連絡の徹底、問い合わせ先の案内。
- ・外来患者家族。予約時間から30分以上経過して、まだ5～6人後と言われた。予約の意味がないとクレーム。
対策：外来運営委員会にて、全診療科の待ち時間調査、予約枠や予約枠内の患者数検討し、順次改善中。

(8) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	医療福祉相談室
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	社会福祉士・精神保健福祉士
患者相談件数	8468件
患者相談の概要	
別紙のとおり	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば記載すること。

2022年度 医療福祉相談室相談の実績

1. ケースの人数

区分	件数
総数	8,468
実人員	495
新規	408
継続	8,060
継続実人員	434

2. 対象者

区分	件数
入院	6,571
外来	1,766
自宅	20
その他	111

3. 住所

区分	件数
栃木市	4,652
大平町	1,138
岩舟町	445
藤岡町	562
都賀町	578
西方町	82
壬生町	292
小山市	188
その他	531

4. 相談方法

区分	件数
面接	514
電話	4,567
訪問	1
文書	8
来所	192
その他	3,186

5. 相談者

区分	件数
本人	1,011
家族	1,210
院内職員	3,536
行政機関	566
施設・医療機関	1,521
居宅支援事業者	446
その他	178

6. 相談内容

内容	件数
経済的な問題に関すること	88
退院に関すること	830
障害者支援に関すること	40
行政との連携に関わること	410
治療の問題に関わること	220
カンファレンス	49
その他	6,831

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
2023年度 受審予定	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 情報発信の方法：連携ニュースの発行 ホームページ 広報誌 ・ 内容等の概要：研修会のお知らせ・休診のお知らせ ・ とちまるネットの活用（平成28年5月より）	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 退院調整部門の概要：専任看護師 専任社会福祉士 病棟カンファレンスへの参加、患者面接を行っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 策定した地域連携クリティカルパスの種類 脳卒中クリティカルパス・大腿骨頸部骨折パス・糖尿病地域連携パス・ ・ 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み	